令和2年度 課の運営方針書

地域振興部　地域づくり推進課

1　課の運営方針

【課の使命】

持続可能で暮らしやすい地域づくりを推進するため、市民センターを拠点にした住民の主体的かつ総合的な地域づくりを推進するとともに、市民自らが「公共」の担い手となる「新しい公共」の取組みの拡大を図ることにより、多様な主体が連携し地域の価値を創出する「共創の地域づくり」の実現を図ります。

中山間地域において、安心な暮らしや活力ある持続可能な地域の実現に向けて、住み慣れた地域の中で暮らし続けられる生活圏づくりを推進するとともに、交通ネットワークの構築や暮らしを支え続けられる地域運営の仕組みづくりを関係部署や地域と連携して進めます。

本市への移住の動機づけを図るとともに、移住者の受け入れ体制を強化することにより、中山間地域への移住を促進します。

【課の目標】

①地域の特性に応じた活力あるコミュニティづくり

市民センターを拠点に地域づくりの機運の醸成や地域の夢プラン(地域の将来ビジョン)の策定、その実践活動を支援するとともに、地域の意向を踏まえながら地域団体による市民センターの指定管理を推進します。

長穂地区および遠石地区の市民センターについて令和3年2月の供用開始を目指し整備を進めます。

②多様な市民活動が促進される環境づくり

市民活動支援センターを拠点として、多様化する市民ニーズへの対応や社会的課題の解決に向けて、総合的な支援体制を整備し、コミュニティビジネスや新しい公共を担う事業など、地域課題の解決につながる新たな市民活動の創出を図ります。

③地域づくりの新たな担い手づくり

「地域の夢プラン」の取組みを支援するプロセスの中で地域の担い手となる人材の発掘やリーダー的な人材の育成に取り組みます。

中山間地域において、都市住民との関わりを深める体験滞在型の交流活動等を通じて関係人口の創出・拡大を図るとともに、これらの人材を地域づくりに活かす仕組みづくりを地域と連携して取り組みます。

④中山間地域の持続可能な生活圏づくり

徳山北部の生活圏の中心となっている須々万地区において、生活交通のネットワークづくりと併せて、老朽化が進む支所・市民センターを、徳山北部の拠点となる施設として整備を進めます。

経営視点を取り入れて身近な生活サービスの維持や、地域資源を活用して収入を確保する取組等を行う「小さな拠点づくり」を推進するとともに、その取組を持続的に実践する「地域経営組織」の体制づくりを推進します。

⑤中山間地域への移住の促進

里の案内人と連携した空き家の掘り起しの強化をはじめ、空き家等を活用した移住者の受入体制を整備するとともに、就農や起業の支援を行うなど、居住から雇用まで連携した移住を促進します。

【働き方改革による業務改善等の取組】

◎業務の進捗状況を職員全員で把握し、特定の個人の業務量が過大にならないよう、業務の平準化や担当間の相互支援を図ります。

２　担当（係）の使命（果たす役割）

（地域づくり支援担当）
多様な主体の連携による「共創の地域づくり」を推進するとともに、地域の夢プランの取組みを市民センターと連携して支援します。
（市民センター担当）
地域づくりの拠点となる市民センターを適切に管理運営するとととともに、老朽化等が進む施設については計画的に更新します。
地域づくりの持続・発展に向けて、地域団体が指定管理者として市民センターの管理・運営が行えるよう支援します。
（中山間地域振興室）
人口減少や少子高齢化が進行する中でも、安心して誇りを持って暮らし続けられる生活圏づくりを地域と連携して取り組みます。
人口減少の著しい中山間地域において、出身地などの愛着のある地域に多様な形で関わる「関係人口」の創出拡大を図るとともに、移住に不可欠な住居の確保、起業等の支援や地域との連携による移住者の受入れ体制の強化を図ります。

３　課の経営資源

（1）課の体制

職員数	41.7 人	うち	正職員	19.7 人	・	会計年度任用職員	22 人

人件費	正職員	144,677 千円	会計年度任用職員	40,822 千円

※H30職員平均給与（　7,344　千円）ベース　　※予算計上額

（2）事業規模

歳入予算額	844,007 千円	歳出予算額	1,202,987 千円	（正職員人件費を除く）	担当予算事業数	18 事業

４　課の中期目標（優先順）　第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果　（最終目標）
1	３　地域づくり １　地域コミュニティの活性化 １　地域の夢プランの推進	住民主体の地域づくりの機運醸成を図るとともに、地域の夢プランの策定や、その実践活動に取り組む地域を支援します。また、地域コミュニティ組織等が身近な暮らしを守る活動や地域資源を活用した経済循環を生み出す活動を行う「小さな拠点づくり」を推進するとともに、その取り組みを持続的に実践する「地域経営組織」の構築を支援します。 【2024年度最終目標値：「地域の夢プラン」の策定数（策定済みの団体の2010年度からの累計数）　20団体】 【2024年度最終目標値：小さな拠点づくりに取り組む地区数（取組に着手または実践する地区の累計数）3地区】
2	３　地域づくり ２　市民活動の促進 １　新たな市民活動の創出	市民活動の持続・発展や地域課題の解決に向けてコミュニティビジネスや新しい公共を担う取組などにチャレンジしやすい環境を整備します。また、NPO法人に対する相談体制等の強化や多様化・高度化する地域づくりの支援ニーズに対応できるよう市民活動支援センターの機能の強化を図ります。 【2024年度最終目標値：コミュニティビジネス等の創出件数　15件】

地域振興部　地域づくり推進課

目標	推進施策	実現したい成果 （最終目標）
3	３　地域づくり １　地域コミュニティの活性化 ２　地域づくりの担い手の確保	「地域の夢プラン」の取組を支援するプロセスの中で、新たな地域の担い手となる人材の発掘やリーダ的な人材の育成に取り組みます。また、中山間地域において、出身地などの愛着のある地域に多様な形で関わる「関係人口」を新たな担い手として活かす仕組みづくりを推進します。
4	３　地域づくり １　地域コミュニティの活性化 ５　UJIターンの促進	地域ぐるみで移住者を受入れる取組みに加え、住居の支援や起業支援等により、新たな地域の担い手となる移住者の受入が実現するとともに、地域の活力を高めます。 【2024年度最終目標値：市の支援制度を活用して中山間地域へ移住した世帯累計　86世帯】
5	３　地域づくり １　地域コミュニティの活性化 ４　地域づくり推進体制の強化	地域づくり活動のコーディネート役を担う市民センター職員の育成や、地域づくりに関連する部署や「ふるさと振興財団」との連携を強化して取組を進めます。また、地域づくり活動の拠点である市民センター等について、計画的な整備や適切な維持・管理を行うとともに、より柔軟で幅広い活動が展開できるよう、地域の意向に応じて自らが管理・運営するための体制づくりを支援します。
6	６　産業・観光 ５　観光交流の推進 １　ニューツーリズムの推進	中山間地域ならではの文化・歴史・暮らしといった地域資源を生かし、体験型教育旅行等の受入れをはじめとする都市と農山漁村との交流の拡大を図り、活力あふれる地域を実現します。
7	３　地域づくり １　地域コミュニティの活性化 ３　自治会活動の支援	自治会集会所等の整備に対する財政支援を行うほか、自治会未加入世帯の加入促進策等について「周南市自治会連合会」や「山口県宅建協会周南支部」と連携して取り組みを進めます。
8	３　地域づくり ２　市民活動の促進 ２　市民活動の支援の充実	市民活動の意義や市民活動団体の活動内容等を情報発信し、多くの市民や企業等の市民活動への関心を高めます。市民活動支援センターにおいて「ふるさと振興財団」との連携により市民活動に必要となる資金や人材・活動場所等に関する情報を収集し、発信します。
9	９　都市経営 ２　適正かつ透明な行政運営の推進 ５　市民参画の推進	市民一人ひとりが市政に参画しやすい環境づくりに向けて、多様な市民参画の方法の設定や実施時期の工夫に努めます。また、市民参画の実施状況について第三者機関による審議・評価の結果等を取り入れながら、さらに市民参画の推進を図ります。 市民参画の重要性や手法について職員の理解を深め、市民の意見・提言を市の取組に展開できる職員を育成します。